

令和2年度経和会理事会 議事概要

日 時 令和2年5月14日締め切り
場 所 メール開催

議案1：新役員・執行部改組案について

新任理事：中澤 仁（49年）、後藤 隆司（58年）、諸星 靖（60年）、
岡崎 和夫（61年）

会長： 館 逸志（再任）

副会長（会長代理、総務委員、就職支援委員）： 倉上 伸夫（新任）

副会長兼就職支援委員長： 高野 政之（前財務委員長）

副会長兼財務委員長： 中莖 雅彦（前企画委員長）

副会長兼総務委員長： 千葉 健（再任）

副会長兼企画委員長： 藤澤 貢（新任）

副会長兼広報委員長： 出口 雅史（再任）

会計監事： 吉田 豊（新任）

（参考）

大木 雄生男（理事、前会計監事）

新任理事として、上記3名が推薦され、承認されました。

執行部は、上記のように2副会長、就職支援委員長、財務委員長、企画委員長、会計監事の新任、会長、4副会長、総務委員長、広報委員長の再任について承認されました。

議案2：経和会規約・細則改正について

経和会規約・細則改正について、原案のとおり承認されました。主な改正点は以下のとおりです。

- ① 就職支援活動を重視するとともに、新たな同窓会事業を実施するために企画委員長に加えて、就職支援活動を専ら行う委員長の新設
- ② 新型コロナウイルス感染緊急事態宣言により大学キャンパスが閉鎖され、その余波が長期化することに伴い、令和2年度の総会中止に備えて理事会に総会代替を可能にする細則の改定
- ③ 大学院及び経済短期大学の記載の修正

議案3：令和元年度決算報告（事業報告を含む）

令和元年度事業報告及び決算報告について、以下のとおり承認されました。

(1) 事業報告

事務委託固定費の削減を進め執行部のボランティア活動による事務局運営、各担当委員長が中心となり計画事業を遂行しました。特筆すべき事項は以下の通りです。

- ① ホームページ（HP）については大学側の好意により学内サーバーに従来の HP を仮置きすることで費用は発生しませんでした。令和 2 年度に抜本的改定を図ります。
- ② Facebook に経和会のページを新設し令和 2 年 4 月より公開グループに登録しました。Facebook を利用されている方は是非活用して下さい。
- ③ 寄付講座としての実践ベンチャー論は講師陣の内容も更にパワーアップし学生からも高い評価を得ています。また、新たにスタートした夜間主の自主ゼミも参加者からは好評です。
- ④ 就職支援活動は従来から要望の高かった公務員について講師陣を増強すると共に父兄からの評価も高いことから、令和 2 年度から就職支援委員会に格上げの予定です。
- ⑤ 新たに創設した同窓会活動支援（学年、地域、職域）については 4 件の支援要請がありましたが、当初予定を大きく下回り今後の PR 活動に努めます。

(2) 決算報告

令和元年度は会費収入を大幅に上回るマイナス予算を組んだものの HP の大学サーバーの使用や事務局費の大幅削減、新型コロナウイルスの影響による各卒業式中の中止などもあり、計画比約 222 万円の支出を削減し、収入予算約▲60 万円にも拘わらず約 74 万円を次年度に繰越し、繰越金総額は約 1,138 万円となりました。詳細は令和元年度決算報告をご覧ください。また、会計監事の大木さんより適正な決算処理が行われている旨の監査報告を頂きました。

議案 4：令和 2 年度事業計画

令和 2 年度事業計画について、以下のとおり承認されました。

会員自身がボランティアを旨として事務局費等の固定経費を極力抑え、埼玉大学経済学部同窓生の交流を中心に事業を実施致します。詳細は別紙事業計画参照。

- (1) 今年度の会費収入が昨年に比べ大きく減収したことから事業計画は 3,752,000 円で作成しました。
- (2) 新型コロナウイルス等の影響で事業計画の内容に変更が発生する場合は、計画担当委員長に一任します。各委員長には執行部に変更合意を求めた上で事業を実施して頂きます。

議案 5：令和 2 年度予算

令和 2 年度予算について、別紙資料のとおり承認されました。主な内容は以下のとおりです。

昨年度は支出予算比▲222 万円の持越決算をしましたが、今年度の会費収入減の見込みを踏まえ均衡予算を組成しました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響等を鑑み寄付講座や就職支援など真に在学生へ有効な支出が見込まれる場合は、持越支出予算の範囲内で追加支出の事前了承を合わせてお願いします。なお、追加支出に当たっては各担当委員長が追加起案し執行部全員の合意を得た上で執行いたします。

議案 6：新型コロナウイルス感染症に関連する学生への支援について

大学から埼玉大学同窓会あてに以下のとおり学生への支援要請がありました。経和会としては、埼玉大学同窓会と連携をとり支援していきたいと考えます。

このため緊急を要することもあり、支援等の詳細は経和会執行部に一任することについて、承認されました。

取り敢えずは、埼玉大学同窓会の予算の範囲内で実施し、その後、追加的な経和会独自の支援について検討していく予定です。

また、個人として支援下さる方においては、特定基金埼玉大学修学サポート基金への指定寄付を宜しくお願い申し上げます。<http://www.saitama-u.ac.jp/funds/about/>

※大学からのメール抜粋「埼玉大学は首都圏にあるため、（応急奨学金を開始している）広島大学よりも多くの学生が地方から出てきて、一人で生活している学生が多く（約3,200名以上）、その中には、日々の食事や生活に困っている学生が必ずいると思います。

このような状況の中で、大学には応急的に奨学金を出せるような仕組みが無いいため、同窓会として、少しでも助けて頂ければと思います。」

その他

1. 令和2年度経和会総会の中止の報告について

令和2年度総会は7月4日に予定されていましたが、新型コロナウイルス感染緊急事態宣言により大学キャンパスが閉鎖され、その余波が長期化することに伴い、総会は中止し、当面理事会決定で代替します。その結果は令和3年7月3日定例開催予定の次年度総会に報告することとします。

また、経和会ホームページにおいて会員専用ページが設定された際には、理事会議決、参考資料の掲載、会員への通知を行っていくこととします。

2. 今回の上記承認事項については、令和2年度経和会総会における議決事項とみなします。

以上